## 7. 償却資産申告書の記入例

◎住所、氏名、取得価額(前年前に取得したもの(イ))及び市内における事業所等資産の所在地は、 く6 この申告に応答する者の係及び氏名 > く3 個人番号または法人番号 > 昨年までの申告に基づいて印字しています。 この申告について直接応答される方の係名、氏名及び電話番号を記入してください。 個人の方は12桁の個人番号を、法人は13桁の ◎印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記入してください。 なお、〈7税理士等の氏名〉が問い合わせ先となる場合は、7と同じ氏名を記入してください。 法人番号を右詰めで記入してください。 ◎償却資産申告書への押印は不要です。 く7 税理士等の氏名 > 経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。 < 1 住所・2 氏名> 住所(又は納税通知書の送達先)・氏名が正確に記載されているか確認し、 〈5事業開始年月〉 ※本市から送付された申告書以外(eLTAX等)で申告の際は、 誤りがあれば訂正してください。また、屋号がある場合は記入してください。 事業を開始した年月、又は法人の 申告書に記載された所有者コードを転記(確認)してください。 法人の場合は法人の住所地を、個人の場合は代表者の住民登録地を必ず記入してください。 設立年月を記入してください。 償却資産を共有されている方は、「代表者外〇名」という共有名義で記入してください。 併せて、申告書右下にある「18備考」に共有者全員の住所及び氏名を記入してください。 く8~14 短縮耐用年数の承認 等> 各項目について、該当する方を〇で囲んでください。 令和 7年度 申告書提出日を → 令和 7年1月9日 担 当 者 番/ 記入してください。 者コード 所有 受付印 < 15 市(区)町村内における 償却資產申告書(償却資產課税台帳) 鹿児島市長殿 9876543210 65432-10 事業所等資産の所在地> 〈4事業種目〉 鹿児島市内にある事業所等の資産所在地について 3 個人番 号又は法人 (ふりがな) **∰** 892 - 86778 短縮耐角年数の承認 事業の内容を具体的に記入 (屋号がある場合は必ず屋号も) 記入してください。 1 住 所 してください。 印字されている内容に追加又は変更がある場合は、 鹿児島市山下町11番1号 無 9 増 加/償 却 の 届 出 (例) 建設業、飲食業等 方書きも含めて記入してください。 又は納税通知 事業種目が複数ある場合は、 4 事業種目 (市役所ビル102号) 無 所 送 達 先 印刷業 また、資産所在地が2ヵ所以上ある場合には、それ 10 非 課 税 該 当 資 産 (資本等の金 主たる事業種目を記入してく ぞれの所在地を記入し、その主となる場所の番号を〇 ださい。 (ふりがな) 15 百万円 有 1 課 税 標 準 の 特 例 無 で囲んでください。 また、資本金又は出資金等 2 氏 名 株式会社 甲 乙 印 刷 (法人は事務所所在地、個人は主たる資産所在地) 50 年 7 月 5 事 業 開 始 の額も記入してください。 無 昭 和 12/特別償却又は圧縮記帳 経理課 甲乙 二郎 法人にあっ 代表取締役 甲 乙 太 郎 13 税務会計上の償却方法 定 率 法・定 額 法 〈取得価額の記入方法〉 てはその名 電話 216 -1187 ) < 16 借用資産> 称及び代表 鹿児島 一郎 7税理士等 者の氏名 有 (屋号 甲乙印刷 色 申 14 青 無 借用(リース、レンタル)資産の有無について、 の氏名 電話 269 -2111) 前年前に取得したもの(イ) 該当する方を〇で囲んでください。 得 昨年までの申告に基づき、 甲乙印刷 資産の種類 借用資産がある場合には、貸主の名称、住所等を ① 山下町11番1号 取得価額を印字しています。 前年中に減少したもの (ロ) 前年中に取得したもの (ハ) 前年前に取得したもの (イ) 計((イ) - (ロ) + (ハ)) (二) 15 市(区)町村内 記入してください。 甲乙印刷谷山店 210,000 2,530,000 11,239,000 築 8,919,000 における事業所 申告もれや移動により受 ② 谷山中央四丁目4927番地 け入れた資産がある場合は、 く17 事業所用家屋の所有区分> 13,950,000 機械及び装 2,480,000 等資産の所在地 48,380,370 59,850,370 甲乙印刷喜入店 (イ)ではなく(ハ)に記入 事業用家屋の所有区分について該当する方を〇で ③ 喜入町7000番地 してください。 囲んでください。 空 貸主の名称等 16 借用資産 車両及び運搬 9.796.000 9,796,000 さくらじまリース株式会社 前年中に減少したもの(ロ) (有・無) ※前年度と資産の増減が無い場合は、 (イ) のうち、前年中に 6 工具、器具及び備と 1,618,000 1,590,000 4,122,030 4,094,030 備考欄の前年度より増減の無を〇で 減少した資産の取得価額を、 自己所有 17 事業所用家屋の所有区分 借家 71,217,400 4,308,000 18,070,000 84,979,400 囲んでください。 種類別に合計して記入して ください。 18 備考 (添付書類等) 評 価 額 課 税 標 準 額 資産の種類 決定価額 ・前年度より増減 (有・無 ) 1 構 築 物 前年中に取得したもの(ハ) ・解散、廃業等 年 月解散・廃業・その他( く18 備考(添付書類等)〉 今回新たに申告いただく 2機械及び装置 ・組織等の変更 年 月変更 該当するものを、必要に応じて記入してください。 資産の取得価額を、資産の 月変更 移転・閉鎖・その他( ・住所等の変更 年 種類別に合計して記入して 例) 令和6年7月廃業、 (木)~(ト)は申告していただいた明細をもとに、 4 航 空 (市外移転先 ください。 市で算出します。 令和6年4月1日○△会社と合併し□△会社へ、 ただし、自社電算申告の方は記入してください。 5 車両及び運搬具 申告もれや移動により受 令和6年8月株式会社〇〇〇へ社名変更、 け入れた資産も、こちらに 6 工具、器具及び備品 償却資産なし/該当資産なし 等 記入してください。 7 合